

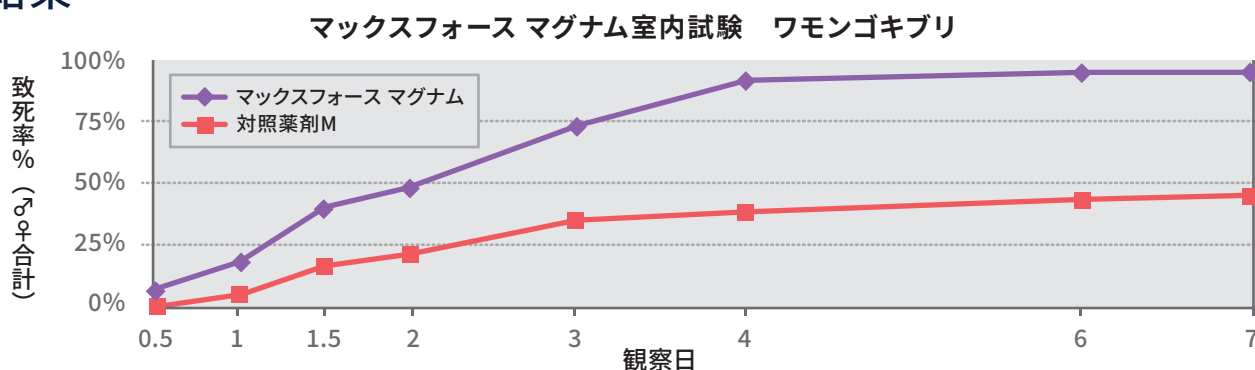
マックスフォース マグナム ワモンゴキブリに対する任意摂食室内試験

1 試験

試料（マックスフォース マグナム）を注入した誤食防止容器を配置し、その後、経時的に致死率を調査して、LT₅₀、LT₉₀を求めた。最終調査日に残余試料の重量を測定して、配置量との差から喫食率を求めた。

LT₅₀、LT₉₀：それぞれ半数致死及び90%致死に至るまでの日数を示す。

2 結果



供試薬剤名	雌雄各数 (合計供試虫数)	配置量 (mg)	LT ₅₀ (日)	LT ₉₀ (日)	喫食量 (g)	平均喫食率 (%)
マックスフォース マグナム	各10頭 合計20頭	0.40g /容器	1.8	4.8	0.35	88
対照薬剤M	各10頭 合計20頭	0.30g /容器	7.1	49.4	0.23	77

マックスフォース マグナムは対照薬剤に比べ、ワモンゴキブリに対し半数致死時間（LT₅₀）及び90%致死時間（LT₉₀）に関して有意に優れていた。

マックスフォース マグナムは対照薬剤に比べてワモンゴキブリに対し高い喫食率を示した。

3 考察

マックスフォース マグナムはワモンゴキブリに対して優れた喫食性と、確実な致死効果を持つ優れたゴキブリ用ベイト剤ということがわかった。

試験機関 社内試験